

第24期第3回（平成29年度第4回）公民館運営審議会会議録

開催日時	平成29年9月28日（木） 午後2時～4時
開催場所	中央公民館・視聴覚室
委員	（出席者）10人 （欠席者）1人
傍聴者	0名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> （1）平成28年度公民館事業報告について （2）平成30年度公民館の重点目標について 2 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> （1）平成29年度第4・5・6回委員部会運営委員会（定例会）報告について 平成29年度第1回研修会について （2）周年事業について 3 情報提供 公民館運営審議会委員研修について
配布資料	<p>（全委員に事前配布）</p> <p>資料1 平成29年度事業計画 平成28年度事業報告</p> <p>資料2 30年度重点目標</p> <p>資料3 各種研修報告書 平成29年度第5回委員部会運営委員会（定例会）</p> <p>資料4 各種研修報告書 平成29年度第1回研修会と都公連委員部会第6回会議</p> <p>他</p> <p>公民館開館50周年記念事業答申骨子</p> <p>公民館運営審議会委員研修の過去の記録</p> <p>第24期第2回（平成29年度第3回）公民館運営審議会 会議録（全委員に当日配布）</p> <p>社会教育部関係決算資料（資料1 追加資料）</p> <p>公民館の重点目標（資料2 追加資料）</p> <p>公民館開館50周年記念事業答申骨子 等</p>
会議の要旨	
委員	<p>それでは、はじめに審議事項「平成28年度公民館事業報告について」を議題といたします。尾又中央公民館長、説明をお願いします。</p>
尾又館長	<p>中央公民館全体の事業について、ご説明いたします。本日配布いたしました、資料1（追加資料）からご説明いたします。</p> <p>平成28年度における中央公民館の特徴的的事业について、ご報告させていただきます。</p> <p>一つ目として、平成28年度におきましては、市町村共同事業多摩・島しょわがまち活性化事業助成金を活用いたしまして「東大和の魅力発見・発信し隊」の2年目を実施しました。3年継続事業とし、まちづくりを目的として、市の魅力を発見し向上させることを学ぶ講座と、市の魅力を発信して行くポータルサイト作成講座を実施しました。</p> <p>魅力発見の講座では、学ぶだけでなく、東大和市をどんなまちにしたいか、どのようなことをしていきたいか、実際にイベントを試していただきました。魅力発信の講座では、ネット上で「東大和どっとネット」という、東大和市の魅力をアピールするサイトの再構築及び人材育成を実施いたしました。</p> <p>二つ目ですが、平成28年4月利用分から施設予約システムによる抽選予約を開始いたしました。</p> <p>三つ目に、蔵敷公民館の外壁調査を実施しました。これにより、中央公民</p>

館・狭山公民館・蔵敷公民館の公民館が施設管理を行っている全3館の外壁調査が終了いたしました。

四つ目として、中央・南街・上北台公民館の保育室の0歳児受け入れは、試行から本格実施となりました。

平成28年度社会教育部関係歳入決算総括表をお開きください。

歳入になりますが、歳入項目3段目の中央公民館関係をご覧ください。

歳入予算額の合計1,226,000円に対して、決算額は1,153,180円で、72,820円の差となっています。公民館使用料と印刷機使用料に関わる利用が少なかったことによるものと思います。

歳入の内訳につきましては、記載のとおりとなっています。

次のページをお開きください。

歳出になりますが、事業名項目の3段目の中央公民館関係をご覧ください。

歳出予算額の合計76,622,000円に対して、決算額は67,801,173円で、執行率は88.5%となっています。執行率は全体で88.5%、中央84.9%、南街88.4%、狭山95.2%、蔵敷89.2%、新堀56.1%、上北台90.4%となっております。

次のページをお開きください。

各公民館の事業費の状況になりますが、南街公民館及び上北台公民館につきましては、光熱水費及び施設管理に必要な経費は、市長部局地域振興課予算から執行されていますので、他の3館と比較してそちらの項目がございません。

全館の事業費別決算額の合計額を説明させていただきます。

公民館運営審議会委員報酬は、711,000円

嘱託員報酬・社会保険料は、2,837,243円

臨時職員賃金は、全館合計8,438,275円

講座講師謝礼は、全館合計3,579,736円

光熱水費は、6,898,967円

委託料は、24,435,434円

東大和の魅力発見・発信し隊は2,929,231円

公民館まつり等負担金は、全館合計、310,000円

備品購入費は、576,936円

消耗品・旅費・修繕料他、9,890,435円、

おもな不用額は、一つは講座講師謝礼で、講師として、市内の講師にご協力いただいたことなどにより、1,448,264円の残金が出たものです。また、光熱水費については、節電等につとめ、4,523,033円の残額が出たものです。

全体的な説明につきましては、以上でございます。

次に事業内容について、ご説明したいと思います。

それでは、資料1、平成29年事業計画平成28年事業報告の5館合同事業をご覧ください。

本日は決算報告でございますので、右側平成28年度の欄をご覧ください。時間の限りもでございますので、特徴的な事柄のみご説明させていただきます。

2段目の市民大学をご覧ください。決算合計は351,440円、Aコースは修了後、こども食堂を運営する自主グループが活動を開始いたしました。

4段目の「ここがふるさと東大和の魅力発見発信し隊」は、市長会助成事業として3年間全額補助金での運営となっております。補助金に加え保育者賃金を公民館事業費より支出したため、合計3,024,151円の決算額

	<p>となっております。</p> <p>本年度のその他の5館合同事業につきましては、お読みいただけますようお願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>
委員	<p>説明が終わりました。ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。(委員から発言なし)</p> <p>それでは、何かありましたら、後からでも結構です。では、「平成28年度公民館事業報告」中央公民館事業について平野係長、説明をお願いします。</p>
平野係長	<p>それでは、中央公民館事業の決算についてご報告させていただきます。資料の中央公民館事業をご覧ください。</p> <p>上の段より子ども対象事業でございます。</p> <p>子ども対象事業では「戦争と平和について考える見学会」「青少年講座」「人形村のなかまたち」で20,132円を執行しております。</p> <p>「戦争と平和について考える見学会」では戦争体験をお話くださった方への謝礼でございます。</p> <p>「青少年講座」は講師謝礼として予算を計上していましたが、モノレールを利用し防災館へ行く体験講座を実施するなど、講師を依頼する講座の回数が減ったため、予算の執行が少なくなっております。</p> <p>「人形村のなかまたち」につきましては、予算の執行はありませんけれども、前回アンケートで参加型を望む声があったことから、幕間等で子ども達が踊れる曲のバンド演奏やハンドベル演奏を行う新たな試みで好評を得た事業でございました。</p> <p>続きまして、青年対象事業でございます。</p> <p>青年対象事業では「障害者青年教室～青年ビートクラブ～」 「ビートクラブスタッフ養成講座」「オータムフェスティバル」で975,760円を執行しております。</p> <p>「青年ビートクラブ」では障がいの有無に関わらず青年たちが演奏やレクリエーション、バス見学会等を行い、交流を図っております。支出は主に講師やスタッフへの謝礼の631,000円でございます。</p> <p>「ビートクラブスタッフ養成講座」では、カホンと言う楽器を自分達で作成し、その楽器を使いビートクラブのイベントで実際に演奏してもらう講座を行いました。ビートクラブを理解してもらえる講座になったと思っております。講座受講者の中から2人の方がスタッフとなっていただけました。予算の執行としましては講師謝礼に65,000円を執行いたしました。予算額より20,000円不足しておりますが、障害者青年教室ビートクラブの余剰分にて対応しております。</p> <p>次の「オータムフェスティバル」でございますが、「オータムフェスティバル」の受付方法の変更や、個別の声掛けにより27年度3団体の参加であった市内団体が28年度は6団体の参加となりました。今後も市内団体に多く参加していただけるよう呼びかけをしていきたいと思っております。予算の執行は音響機材の賃借料が228,960円となっております。</p> <p>続きまして、成人対象講座でございます。「前期保育付講座」「中後期保育付講座」「親子サロン」「ママ・マルシェ」「成人趣味教養講座」「社会教育と人」が成人対象講座となり、合計737,635円の執行となっております。</p> <p>保育付講座は、前期に「お母さんは100点満点講座」、中後期に「家族を楽しむ宝箱」を行いました。保育付講座は前期・中後期合わせて、講師への謝礼と保育士賃金で657,635円の執行でございます。</p> <p>保育室を利用することで母親自身がリフレッシュする機会となり、また母親同士の繋がりを作る場となりました。前期講座の受講者は自主サークルにて活動しております。中後期の受講者につきましては場所が中央公民館では</p>

	<p>ありませんが、グループを作り活動していると聞いております。</p> <p>成人趣味教養講座では、「ピラティスで自分磨き」として、ストレッチ体操による講座を実施いたしました。予算では講師謝礼の80,000円を執行しております。</p> <p>「親子サロン」「ママ・マルシェ」「社会教育と人」は予算の執行はありませんでした。</p> <p>その他の事業といたしまして「中央公民館まつり」は28年度ございませんでした。「グループ活動講習会」から「保育室を考える会中央」までで、150,340円を執行しております。</p> <p>主なものとしまして「保育室を考える会中央」の保育士賃金で120,240円となっております。</p> <p>最後にございます「シニアクラスで学ぶ！楽しむ！」では、新堀地区会館において高齢者を対象とした講座となっております。</p> <p>その他の講座等につきましては資料をご覧ください。</p> <p>講座以外の予算の執行につきましては、</p> <p>「公民館事業運営費」「公民館運営審議会費」「保育室運営費」の合計で8,641,366円を執行しております。「公民館施設管理費」で17,838,512円を執行しています。</p> <p>「公民館事業運営費」の主なものとして嘱託員や臨時職員の雇用関係となっております。その他、備品修繕やこうみんかんだより関係の委託料となっております。</p> <p>「公民館施設管理費」では、主なものとしましては光熱水費が4,315,328円となっております。その他施設修繕、施設関係の委託料となっております。</p> <p>中央公民館事業につきましては、以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございました。ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>中央公民館に限らず、五館合同もですが、公民館の事業を振り返り、良い活動がいっぱいあるわけです。活動あるいは事業のPRの場は、こうみんかんだよりや各館の地区館だより以外はどういったものがありますか。</p>
尾又館長	<p>皆さんの活動内容をPRしている場というのは、東大和市ホームページ上の各団体の一覧表があり、グループがどんな活動をしているかということがわかります。</p> <p>都公連大会で、事例発表もございます。</p> <p>市内のケアセンター等でボランティアに行かれたり、公民館まつりで他館交流を行っています。</p>
委員	<p>ホームページにおいても詳細なものは出てこないです。つまり、公運審の場だけではなく、多くの人達に対して「公民館はこのように行われている」ということをフィードバックできる場がないのかな、ということで質問いたしました。</p> <p>リーフレットやプロモーションビデオのことなどで、自分達で活動しているような仲間に公民館の活動をどのように広めていくか。公民館にフォーカスしたようなホームページ等がないのか、という意見を聞きましたので、挙げました。</p>
尾又館長	<p>社会教育関係について毎年記録を作っています。市民の方にも見ていただけるように、窓口配布しています。予算削減に伴い、委員や特定の方のみお配りしています。行政資料室や各公民館ロビー等でご覧いただくことができます。</p>
委員	<p>現状という意味ではわかりました。</p>
委員	<p>それでは、引き続き、「平成28年度公民館事業報告」南街公民館事業につ</p>

	いて北野館長、説明をお願いします。
北野館長	<p>それでは、平成28年度の南街公民館事業の決算につきまして、ご報告させていただきます。個々の講座の内容につきましては4月にお話させていただいておりますので、重複しないよう主に金額の部分についてご報告いたします。</p> <p>まず初めに、「子ども対象講座」の「子どもたちとの公民館&児童館」をご覧ください。</p> <p>事業につきましては平成28年7月2日（土）に実施いたしました。利用者連絡会及びなんがいで児童館との共催で行います子ども対象の事業でございます。地域の児童及び幼児親子が、毎年多く参加していただけるイベントとなっております。1階の児童館では縁日風にゲームを行い、2階の公民館では利用グループの「多摩友の会」による体験教室を実施いたしました。</p> <p>公民館利用グループをお願いしたため、謝礼の支出はなく、消耗品等で7,761円執行いたしました。複合館の特色を生かした年に1回の事業でございますので、今後も協力して、事業を実施していきたいと考えております。</p> <p>次に、「成人対象講座」でございますが、「文学講座」、「保育付講座」、「趣味講座」、「街づくり懇談会」及び「学習講座」の講師謝礼として、576,000円の予算を計上し、420,000円を執行いたしました。</p> <p>内訳でございますが、講座講師謝礼として、「文学講座」に140,000円、「保育付講座」に120,000円、「趣味講座」に72,000円、「街づくり懇談会」に88,000円、計420,000円になります。</p> <p>資料に記載のあります決算数値との差額分につきましては、保育士賃金になります。</p> <p>また、「グループ活動講習会」につきましては、社会福祉協議会の職員に講師を行っていただいたので、報償費の執行はございませんでした。</p> <p>次に、「新春コンサート」についてでございますが、南街公民館利用グループに限定していないコンサートのため、日頃公民館を利用していない団体や個人も参加しており、様々なジャンルの音楽発表を行っております。発表に対する謝礼等はございませんので、このコンサートのための特別な予算は設けてございません。</p> <p>最後に「南街公民館まつり」につきましては、「公民館まつり負担金」として、70,000円執行いたしました。平成28年度は1,145人の来場者で、昨年度と比べて若干増加いたしました。</p> <p>南街公民館の事業運営費全体の予算は3,359,000円、臨時職員賃金と保育士賃金が1,764,834円、報償費及び講師派遣手数料が、450,000円、消耗品、医薬品及び備品修繕料など需要費関係298,477円、ピアノ調律手数料、郵便料、公民館総合補償保険料など106,880円、NHK受信料、電子複写機賃借料、印刷機賃借料など使用料及び賃借料関係は280,835円、公民館まつりの負担金70,000円、</p> <p>合計2,971,026円を執行し、残額387,974円となっております。</p> <p>以上、南街公民館の決算報告になります。よろしくお願いたします。</p>
委員	<p>質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>（委員から発言なし）</p> <p>それでは、引き続き、「平成28年度公民館事業報告」狭山公民館事業について佐野館長、説明をお願いします。</p>
佐野館長	<p>それでは、狭山公民館の事業費の決算について、報告させていただきます。資料1の「平成28年度事業報告」の狭山公民館事業をご覧ください。</p> <p>はじめに、講座や事業の報告です。</p> <p>「子ども対象講座」は「狭山子ども体験教室」に30,000円、「夏休み</p>

	<p>写生会」に21,000円、「人形劇&アニメ映画会」に10,000円執行しました。</p> <p>このうちの「狭山子ども体験教室」については全3回開催しました。各回ともたくさんの参加者が集まり、工作や実験を通じて様々な体験をすることができました。この講座は重点目標にあげている市内の人材を有効に活用する事業の一つとしてこれからも継続をしていきたいと思えます。</p> <p>「成人対象講座」は親子講座に35,500円、「保育付講座」の講師謝礼に104,000円、また、保育士賃金は110,798円の執行となっております。</p> <p>裏面に移りまして「里山探検隊」には27,000円を執行しております。第1回到講義、第2回で学習した地域を歩くこの講座は、非常に好評です。</p> <p>「高齢者対象講座」は、「わくわく教室」に、75,000円を執行しております。</p> <p>「その他」の「公民館まつり負担金」に70,000円。「グループ活動講習会」に6,000円を執行しております。</p> <p>また、五館合同事業の資料に記載がされている「市民大学・東大和グリーンカレッジ」には26,000円を執行しております。</p> <p>その他につきましては資料をご覧ください。</p> <p>続きまして、中央公民館関係、歳出事業費別内訳の狭山公民館の欄をご覧ください。講座や事業以外の決算について報告いたします。</p> <p>まず初めに、臨時職員賃金として1,572,224円支出いたしました。こちらは事務の臨時職員と保育付講座の保育士の合計となっております。</p> <p>次に先ほど講座や事業の報告をいたしましたので、この部分はくり返しになりますが講座講師謝礼として合計334,500円支出いたしました。</p> <p>また、光熱水費として1,497,111円支出いたしました。</p> <p>清掃委託料等委託料では、5,381,557円支出いたしました。</p> <p>狭山公民館の用地借上料として5,637,204円の執行をいたしました。</p> <p>備品購入費で、会議用テーブルとして483,840円支出いたしました。こちらもくり返しになりますが公民館まつり負担金として70,000円支出いたしました。</p> <p>消耗品他では1,928,391円支出いたしました。</p> <p>最後に工事請負費、冷暖房設備改修工事では908,712円支出いたしました。</p> <p>まとめになりますが、平成28年度における狭山公民館における予算額は18,717,000円、決算額17,813,539円、残額903,461円となっております。</p> <p>狭山公民館の事業費の決算における報告は以上です。</p>
委員	ご質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。
委員	南街公民館と上北台公民館は、光熱費について入っていませんが、なぜでしょうか。
尾又館長	南街公民館と上北台公民館につきましては、施設管理については、地域振興課のほうで行っております。施設の修繕や光熱費などはそちらで計上しております。
委員	他に質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。 (委員から発言なし) それでは、引き続き、「平成28年度公民館事業報告」蔵敷公民館事業について三宅館長、説明をお願いします。
委員	それでは、蔵敷公民館の事業について、報告させていただきます。 資料の蔵敷公民館の表をご覧ください。

	<p>まず最初に講座や事業費の報告です。</p> <p>「子ども」対象事業は、「子どもフェスティバル」に合計10,000円を執行しております。</p> <p>「青年」対象事業は、「青年対象講座」に40,000円予算執行いたしました。</p> <p>「成人」対象事業では、「親子講座」に24,000円、「保育付講座」の報償費に108,000円、保育士賃金に116,210円、こちらプラスされた金額が載っております。「成人体験講座」に18,000円、資料には記載がございませんが、五館合同事業として「市民大学」に38,000円を執行しております。</p> <p>「高齢者」対象事業は、未・楽・生倶楽部に報償費44,000円、講師派遣手数料40,000円の合計84,000円を執行しております。こちらの表では決算額168,000円となっておりますが、84,000円に訂正をお願いします。</p> <p>「その他」は、「外国人と市民との交流会」で報償費に150,000円消耗品や印刷製本費に83,487円、掲示板使用料に112,320円の合計345,807円を執行し、オリンピック・パラリンピック関連事業に交付されるスポーツ振興等事業費補助金として173,000円の補助金が交付されています。</p> <p>また「公民館まつり負担金」に70,000円を執行しております。事業にかかる予算は以上になります。</p> <p>つづきまして歳出事業費別内訳の方に主な内訳は記載させていただいておりますが、施設管理に関わる部分について説明させていただきます。</p> <p>臨時職員賃金は、公民館事務臨時職員と保育士の賃金で1,588,531円、需用費として消耗品や備品修繕料などで358,987円、役務費として、電話代、公民館総合保障保険料等で205,826円、使用料及び賃借料として、ファクシミリ、コピー機、印刷機、トイレ芳香器等で604,636円を執行しました。</p> <p>次に、「公民館施設管理費」の説明をいたします。</p> <p>需用費として、燃料費、光熱水費、施設修繕料の合計2,466,807円、委託料として、清掃、施設管理、機械警備等と今年度は外壁調査の合計6,475,820円を執行しました。</p> <p>蔵敷公民館の事業費の決算における報告は以上です。</p>
委員	<p>蔵敷公民館の説明が終わりました。ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>外国人と市民との交流会というのをしています。いわゆる在留外国人に日本文化に親しんでもらうということですが、どういう文化に親しんでもらったのか、具体的に伺いたいです。外国人の国籍は中国の方が多いと聞いていますが、国籍についてと、どういう文化を発表しているのかをもう少し教えてください。</p>
三宅館長	<p>もともとこちらのイベントは日本語学習をPRしようという意味もありまして、市内在住の外国人だけではなく、在住の日本人の方にも楽しんでもらおうとして企画したイベントでした。イベントを通して、日本語の学習者を増やそうとする目的もあります。</p> <p>今回、インドネシアなどの外国文化の発表を設けました。また偏らないように、日本文化については、お茶、生け花を行い、発表に関しては、日本舞踊や和太鼓などを設けました。</p> <p>さらに、実際来た方と向い入れる側が交流できるよう、学習者の方にブースに居ていただいて、タイなどの東南アジア文化を紹介していただくブースを作りました。その国の文化がよくわかるということで、民族衣装を身に着</p>

	けていただいて、来場者の方と話しをすることで、交流を深めていました。
委員	外国特有の文化について知ることは大変おもしろいかと思います。日本文化の紹介については、踊りやお茶だとか、そういった面が主体かと思うのですけれども、外国の方が300人もお見えになった。成果がかなりあったかと思います。
委員	他に質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。 (委員から発言なし) それでは、引き続き、「平成28年度公民館事業報告」上北台公民館事業について蓑田館長、説明をお願いします。
蓑田館長	<p>それでは、上北台公民館事業の決算について、報告させていただきます。「上北台公民館 平成28年度事業報告」資料1をご覧ください。</p> <p>最初に子ども対象事業ですが、当初予算は79,000円で計上していましたが、アラ中読書会を充実させ、対象年齢を広げた講演会も実施しました。結果96,000円を執行しました。工作体験講座については、昨年度は夏休みの1回のみに行いました。例年通り夏休み映画会を実施し、「崖の上のポニョ」を上映しました。近隣小学校のプール指導と日程がかちあったこともあり、40人と例年より参加者が減ってしまいました。</p> <p>続いて成人対象事業ですが、当初予算は572,930円で計上していましたが、575,740円を執行しました。</p> <p>保育付講座は、多世代交流も目的として東大和の歴史をテーマとしました。市内のバス見学では歩きながら談笑したり、若い世代からは「本村地区は初めて来た」や「歴史講座は関心があったが、今回は保育付だったので参加できた」との声もありました。グループになって続けたいという声もありましたが、外を散策するような活動を是非ということで、公民館の保育室は館内での活動をするときに利用していただいておりますので、グループ化にはいたりませんでした。</p> <p>地域課題講座は「子どもの権利条約」をテーマとして、受講者の幅を広げるために当初予算では予定していなかった保育付としました。やりがい講座は委員にも講師としてお手伝いいただきまして、健康麻雀に取り組み、3つの自主グループが発足しました。</p> <p>その他、地域発見講座として「意外に知らない東大和」を実施いたしました。例年同様に大勢の応募があり、大変好評でした。</p> <p>他に記載はしてありませんが、五館合同事業である市民大学に上北台公民館の予算から40,000円執行いたしました。</p> <p>続きましてその他の事業になりますが、ほのぼのの事業について、狭山公民館でも行われましたが、パラリンピックで話題になったボッチャ体験をしました。老人福祉館の教養娯楽室で開催いたしました。児童館や学童クラブの子どもたちにも参加してもらい、多世代交流を目指しました。</p> <p>第18回上北台公民館まつりは10月22、23日の土日に開催し、1,553人の参加があり、27年度より参加者は37%増加でした。4月に熊本地震があったことから、災害支援もテーマとして募金や作業所の方にもお願いし、熊本支援になるような物販にも取り組みました。</p> <p>グループ活動講習会は、防災についても公民館は地域の拠点となることから、「公民館活動中に大地震がおきたら」をテーマに行いました。一般の方にもチラシを配り、公民館のグループには参加していない方も参加があり、いつもは締め切っている三階西側の非常階段を下りる体験もしていただきました。皆さんからは「こんなところに階段があるなんて知らなかった」というお声もいただきました。時々そういったことをしておくことも大事なかなと思いました。</p> <p>利用者懇談会は前年度よりは多くの方に参加していただきました。土曜日</p>

	<p>開催にしたこと、3年毎の倉庫・ロッカー利用の調整会議を同日開催したことによるものと思われます。</p> <p>内訳については、臨時職員賃金と保育士賃金が1,667,165円、報償費及び、561,000円、消耗品等、医薬品及び備品修繕料など需要費関係は303,530円、ピアノ調律手数料・郵便料・公民館総合補償保険料など役務費は9万9,635円、電子複写機保守点検委託料は29,090円、印刷機賃借料は324,000円、公民館まつり負担金70,000円、合計3,054,420円を執行いたしました。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございました。ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>今日は事業報告と主に決算の報告ですよね。資料1追加資料を見ると、予算に対して決算が残っている。予算が余ったのは882,000円程度で、中央公民館光熱費や蔵敷公民館光熱費等ですが、残った予算金額は転用できないのでしょうか。</p>
尾又館長	<p>市の財政面は年度で執行することになっています。どの項目にいくらつけるかというのは議会です承してもらっているものになります。どうしても理由があって流用する場合がありますが、特別な理由がない限りは残額として報告させていただいております。</p>
委員	<p>上北台公民館まつりで、前回より、37%増加したそうですが、来館動機はなんだと思われますか。狭山公民館まつりの参考にしたい。</p>
蓑田館長	<p>職員や実行委員会で反省会においても増加について報告したところではありますが、目立って新しいことはした年ではありませんでした。お天気に助けられたかとは思いますが。オープニングにたくさんのお客様を呼び込む仕掛けについて、あえてしなかったです。</p> <p>それぞれのグループの方や作業所の方々に、チラシまきに持って帰っていただいて、ポストインしていただきました。色々なところが少しずつ積み重なった結果かと思えます。</p>
委員	<p>先ほど、公民館のPRについて質問がありましたが、皆で手分けして口コミやポストイン等の地味な活動がそれだけ増えたのかなと思います。</p> <p>各公民館の講座を市民に知ってもらうきっかけにしてもらえたらいいなと感じています。</p>
委員	<p>上北台まつりはいつも10月21日・22日あたりかと思えます。市民文化祭もこの時期に行っています。いつも日程がぶつかってしまい、今年もどちらにも参加したいができません、午前午後に分けて参加する予定です。</p> <p>時期について、10月というのは変えられないのでしょうか。</p>
蓑田館長	<p>上北台公民館まつりの時期について、毎年苦慮しているところです。他の館では何月の第何週のこの日とはっきり決めている館があるかと思えますが、そういったことができません。どうしてかと言いますと、文化祭のように市で大きな催しもありますし、ふれあい市民運動会や上北台公民館の地区である第十小学校はいつも秋が運動会です。そういう大きな催しと重ならないようにしてきます。</p> <p>今年についても市民文化祭と重なりますが、運動会と重なるよりかはいいだろうと大変申し訳ないのですが、なかなか都合が難しいのが9月と10月になります。5館でも全部時期を決めていますので、上北台のグループの中には、毎年まつりの時期を館ごとに変更してはどうかというお声もありますが、私ども皆様含めまして、まつりは半年や1年かけて作ることを考えますと、例えば今年秋、来年3月ということはお互いに難しいと思えます。</p> <p>そういった事情で決めさせていただいております。</p>
委員	<p>9月ぐらいしかないのですね。</p>

委員	<p>他にはいかがですか。 (委員から発言なし) それでは「平成28年度公民館事業報告について」以上といたします。 それでは、審議事項「平成30年度公民館の重点目標について」を議題といたします。尾又館長、説明をお願いします。</p>
尾又館長	<p>事前配布しました資料2及び、当日配布しました資料2追加資料をご覧ください。 毎年公民館運営審議会にかけさせてもらっていますが、次年度の重点目標を決めさせていただいております。 次回には最終決定していただき、平成30年度の公民館の運営をさせていただきたいと思っております。 毎年大幅に変えるというものではありませんので、30年度重点目標について、資料のとおり職員のほうで意見を出しました。 「2. 運営 (1) 利用しやすい公民館とするために イ 『こうみんかんだより』のリニューアルを検討します。」についてですが、平成29年度現在検討中であり、平成30年度には反映する予定であり、検討は終了することから、(イ)は削除いたしました。 「(5) 市民大学～」のところですが、(1)から(4)については公民館をどのようにしていきたいかという内容の目標をたてています。 (5)については(1)から(4)の中で交錯する部分があり、しいて言えば、(5)は必要ないのではないかという意見もありました。 もし市民大学を継続して重点目標に載せる場合には、「ア 市民自らが企画運営を行い、多様な講座を展開していきます。イ 市内5館で講座を実施します。ウ 幅広い世代が企画運営を行うことにより、地域の活性化につなげていきます。」といったことも考えられるのではないかと思います。 内容につきまして、本日ご提案いただいたり、ふくらましたり、けずってもらったり等ご検討していただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございました。 平成27年度から少し経緯を説明します。平成27年度をご覧いただきますと、平成27年度課題も含めて、重点を作成するのに、理由づけを行い記載していました。 平成28年度重点目標はかなりリーフレットに近い状態で、左側に写真を取り入れることによって注目度を高めようという意図があり、審議した内容を右側に記載しております。 平成29年度は同じように左側に写真、右側に重点目標、内側に運営の(1)から(5)に該当する各事業、それにまつわる印がついています。 以上の経緯を補足させていただきました。 そして、30年度 中央公民館長から説明がありましてとおり、(5)市民大学は一切取ってしまうのか、または残すのか、皆様のほうから質問やご意見を頂戴いたします。</p>
委員	<p>(5)市民大学のリニューアルということで載っていますが、市民大学は来年4月からヒガシヤマト未来大学に中身を変えることに決まっているんですね。 30年度の目標はヒガシヤマト未来大学にしますということは特にいれないでよいのでしょうか。</p>
委員	<p>平成30年度公民館の事業で、どういうことに力を入れるか。市民に知らせるといことになるので、是非いれるべきです。市民に伝えるべきだと思います。</p>
委員	<p>残すということに異論はないですか。</p>

	(委員から異論なし) それでは、平成30年度も「市民大学」については残すこととします。名称について、委員の皆様いかがですか。
委員	市民大学からヒガシヤマト未来大学にしたにも関わらず、ヒガシヤマト未来大学を載せないのはヒガシヤマト未来大学を訴えることができません。ヒガシヤマト未来大学を載せるべきだと私は思います。
委員	(1) から (4) のように「～するために」と語尾を合わせるとするならば、そのことをご審議いただきたい。
委員	どの言葉がいいかはわからないのですが、市民にとってわかりやすいもので、見たときにぱっとわかる表記がよいと思います。
委員	最初に「市民大学」がスタートした時には、どんな表現にしたのでしょうか。
委員	「市民大学」で入っていたはずですが。グリーンカレッジは入ってなかったのですが。平成26年度からかと。
委員	平成26年度分が私の手元にあります。平成26年度は「(4) 平成25年度実施した市民大学を評価・検証します。評価・検証を踏まえ、東大和市の市民大学のあるべき姿を検討します。」と書いてあります。 平成27年度から「市民大学」という言葉を使っています。
委員	必ずしも「～するために」でなくても良いということでしょうか。
委員	平成26年度はすべて文末が「～します」でした。言葉のスタイルですが、それもわかりやすさにつながるのではないのでしょうか。
委員	言葉に関してはどちらでもよいように思います。なんらかの形でヒガシヤマト未来大学という文字をいれたほうが良いのではと。
委員	「市民大学はヒガシヤマト未来大学にリニューアルします。」あるいは「東大和グリーンカレッジはヒガシヤマト未来大学 リニューアルします。」というようにヒガシヤマト未来大学を入れたほうが良いのではないのでしょうか。
委員	市民から見たときに、今まで「市民大学」のほうが使われているので、通りがいいのではないかと。「リニューアル」は今までやってきた市民大学が何か名称も含めて新しくなるのかなという期待感があると思われそうです。 今までの「市民大学」を使いながら、それがリニューアルされるんだということを重点目標の中に含めておけば、名称が変わったことがわかりやすいと思います。皆さんのご意見はいかがでしょう。
委員	市民の方にわかりやすく、それは当然のことだと感じています。 「市民大学」という言葉がある程度知られているかと思います。ですが、新しくリニューアルするという意味では「未来」という言葉は、電気自動車等、未来に対して世の中が移行していて、「未来」はおもしろい印象や期待感があると思います。
委員	「ヒガシヤマト未来大学」云々と載せたほうがよろしいというご意見ですね。 具体的に(1) から (4) の流れから、「(5) ヒガシヤマト未来大学」と項目についてお知らせいただければと思います。
委員	以前、ヒガシヤマト未来大学についてチラシをもらったかと思います。チラシの中で「ヒガシヤマト未来大学企画運営に関わるメンバー募集のところに現在の市民大学(東大和グリーンカレッジ)は平成30年度に新しくヒガシヤマト未来大学に生まれ変わります」とすでにうたわれています。 ここの関わりはどのように企画されているのでしょうか。現在の市民大学の検証は、どういう形なのでしょう。
委員	予告をしているのだから、「ヒガシヤマト未来大学」という名称で書くべきだと。

委員	「ヒガシヤマト未来大学」と名称で開催した結果、それを見て、どういう方向だとかどういう結果が出たのか、ということが欲しいですね。
委員	(5)のアイウの中に欲しいということですか。これまでの評価を含めて文面が欲しいというご意見ではないですか。
委員	欲しいというよりは、これからこれに変えていこうというネーミングや内容を実施した方向があったと思います。今までの市民大学の内容からみてちょっとハードルが高いかなという感覚もあります。そのへんとの関わりはどのようなのでしょうか。
委員	昨年度までに行った市民大学についてどのような評価があるのか、委員の皆様、情報をお持ちですか。 (委員から発言なし) それでは事務局はいかがでしょうか。
尾又館長	平成29年度事業計画平成28年度事業報告五館合同事業の3段目をご覧ください。「ヒガシヤマト未来大学」の目的や反省のようなものが記載されております。 過去4年間やっており、今までの公民館講座とどうちがうのか 毎年ご質問を受けているところでもございました。公民館の延長ではないことを是非行ったらどうかというご意見がありました。 公民館講座とは違うものを作り出すという目的にかなったものはないだろうかということで企画委員を養成するということをしております。 市民が企画運営を行って自主的になることが行われていないのではというご指摘があり、「ア 市民自ら～」のとおり平成30年度は目標にしていかなければならないと考えております。 「イ 市内5館で講座を実施します。」ですが、最初市民大学が始まったときには市全体を学習の場に、という目的がありました。けれども、皆さん集まるのは中央公民館が都合いいということで企画委員会を行ううちに中央公民館に場所が寄ってきてしまいました。これをやはり、東大和市全体を活性化させるために、市民の方が東大和市の良いところについて勉強できるように広い地域で行うようにということがありますので、五館で講座を実施することをひとつの目的とさせていただいております。 「ウ 幅広い世代が～」ですが、この4年間反省する中で、年代がある一定の幅になってしまっていることをご指摘いただいております。もっと幅広い世代が参加できることが市民大学ではないか、企画運営する方の世代を幅広くすることによって、幅広い世代が参加していただき、それが東大和が生き生きすることにつながっていくようにという目標を立てながら、来年のことを考えているところでもございます。 したがって、このアイウは反省に基づいて重点目標に出しています。
委員	次回は決定で行きますので、今回である程度審議していただくところで。 (5)ヒガシヤマト未来大学云々、前の言葉を使えば「充実のために」というような文にし、ア、イ、ウ、をその下に載せていく形で平成30年度打ち出すというようなことになれば、五館それぞれの事業がそれに合わせて意図的に行われていくであろうと思われます。
委員	パンフレットに文言がありますが、(5)をどのように表現すればいいか、「市民大学はヒガシヤマト未来大学に生まれ変わります」というのはインパクトがあります。 ア、イ、ウ、についてですが、「講座」となっています。「ヒガシヤマト未来大学」は いわゆるシブヤ大学等のソーシャル系大学ですよね。「講座」という打ち方でよろしいのでしょうか。「事業」や「活動」というイメージを持っていました。

	<p>企画委員を養成する講座の最中ですよ。シブヤ大学等のイメージと違うということならともかく、私自身ではこの「ヒガシヤマト未来大学」は「講座」というよりも「地域おこし活動」だと思っています。「講座」という言葉は、市民に伝えたい事実でしょうか。「多様な講座」では従来と変わらないように伝わります。どちらがより適切な表現でしょうか。</p> <p>「ヒガシヤマト未来大学」については「講座」という言葉は不適切に感じました。</p>
委員	講座を行うので、不適切ではないですが。
委員	「ア 市民自らが企画運営を行い」という所で、市民が指導者になっている講座と読み解くことはできないでしょうか。
委員	「講座」という言葉から私には伝わってきません。市民の人が企画委員を行っているわけですから。「講座」は講座だけをやっていく印象です。それが「ヒガシヤマト未来大学」ですか、と思いました。
委員	<p>シブヤ大学は、NPO 法人として組織化している。ひとつのテーマを学ぶために多様な年代や人達が集まる開かれたコミュニティ、地域社会を作っているんだと。</p> <p>こういう事を、うちでも真似してやりたいということです。講座もあるし、広場もあるし、集会もある。</p> <p>話は戻りますが、「ヒガシヤマト未来大学」をいれたほうがいいのかという私の考えです。</p>
委員	委員から「講座」という言葉の使い方ですが、「授業」や「活動」とか、そういう言葉のほうがよいのではないのでしょうかという意見でした。
委員	「講座」だけを訴えると違うのでは。
委員	委員がおっしゃるように、「講座」だけではないんだと。ア、イ、ウの中で「講座」が2回も使われているのは、イメージ的に「講座」が強いですね。
委員	「多様な学びの場」はいかがですか。
委員	少し噛み砕いた表現になりました。他の皆様いかがですか。
委員	尾又館長の先ほどの説明は、中央公民館一辺倒の活動にしたいくないということですね。趣旨はわかりました。
委員	<p>2つ講座がある内の1つは「学びの場」で、市民が「講座」と構えるよりは、何か学べるのではという感じがあります。いかがですか。</p> <p>(委員から賛成の声あり)</p> <p>まとめます。(5)については、残します。「ヒガシヤマト未来大学」という言葉を使います。例えばすでにリーフレットにありますように「ヒガシヤマト未来大学に生まれ変わります」という言葉を使う方法もあります。</p> <p>そして、アについては「学びの場」に直したほうがいいのかと。</p> <p>今日の審議結果でよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から発言なし)</p> <p>(1)(イ)は削除でよいですね。次回(5)を書き直した状態を出すということよろしいでしょうか。</p>
委員	確認したいのですが、ヒガシヤマト未来大学の企画運営はNPOのマイスタイルが企画委員ということですが、基本は公民館が運営という形をやっていくのか、民間へ委託していくのでしょうか。
委員	NPOはファシリテーターですね。ソーシャル系大学を目指す上で、それを理解した上で、東大和の市民が参加して、企画そのものは東大和市の市民が行い、東大和をこのようにしていくんだという理解です。
尾又館長	NPO法人のマイスタイルさんにファシリテーターをまかせています。市民が企画運営の主体となっていくことを目指しています。来年4月くらいからそうなればいいなと、思っております。
委員	チラシを見ると主催が書いていません。主催は中央公民館でしょうか。

尾又館長	公民館の事業で取り組ませていただいております。
委員	次回完成形で皆さんに最終確認していただきます。 （５）「ヒガシヤマト未来大学に生まれ変わります」と書いていいものではないか。最後だけ、「～のために」ではなく「～ます」でよいでしょうか。
委員	チラシの段階で十分検討した結果でしょうから、そのままよいのではと私は思います。
委員	他はご意見よろしいでしょうか。それでは「平成３０年度公民館の重点目標について」は審議をここまでとしたいと思います。